

絶滅危惧 II 類 (VU)

選定要件 ②

ホラアナゴマオカチグサ

エゾタマキビ目 カワザンショウ科

Cavernacmella kuzuuensis (Suzuki)

環境省 絶滅危惧 I 類

- ❖ 形 態 裸高 2 mm、殻径 1.3 mm ほどの微小種で 4 ½ 層。殻は黄白色の薄い半透明で右巻き、蓋をもつ。
- ❖ 分布の概要 石灰岩地帯の洞穴に生息するが、分布が石灰岩地帯に限定されるため、局所的。
- ❖ 生息状況 洞穴の中でも気温や湿度の変化が少ない限られた場所に生息している。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化による洞穴内の温度や湿度の変化が懸念される。
- ❖ 特記事項
- ❖ 文 献

(高橋 一成)

絶滅危惧 II 類 (VU)

選定要件 ②

エゾマイマイ

マイマイ目 ナンバンマイマイ科

Ezohelix gainesi (Pilsbry)

環境省 絶滅のおそれのある地域個体群
(東北地方以南のエゾマイマイ)

- ❖ 形 態 裸高 26 mm、殻径 36 mm ほどで 5 層。右巻き。丸形で体層が著しく膨大。殻皮は淡い黒緑～濃い黒緑。
- ❖ 分布の概要 奥羽山脈と早池峰山の高山帯部分に生息している。
- ❖ 生息状況 高山帯に遺存的に分布するが、いずれも個体数甚だ少なく稀産。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化や大気汚染等による生息環境の変化、ホンドジカの生息域拡大による生息環境の搅乱が懸念される。
- ❖ 特記事項 従来、ブドウマイマイとして扱ってきたが、環境省のレッドリストでは本種を東北地方以南のエゾマイマイとしており、分類についてはこれに従った。
- ❖ 文 献 1. 檻山龍司編 (1980)

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

スジケシガイ

オカミミガイ目 オカミミガイ科

Carychium noduliferum Reinhardt

環境省 なし

- ❖ 形 態 裸高 2.3 mm、殻径 0.9 mm ほどの微小種で 7 層。殻は円筒形で白色、右巻き。殻表に密な成長肋がある。
- ❖ 分布の概要 県内各地の自然度の高い森林に生息地が点在する。岩手県においては稀産。
- ❖ 生息状況 林床の落葉下に生息している。
- ❖ 脊 威 森林の伐採、土地造成等による生息環境の消滅や気候の温暖化による生息地の乾燥化が懸念される。

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

クリイロキセルモドキ

Mirus andersonianus (Moellendorff)

マイマイ目 キセルモドキ科

環境省 準絶滅危惧

- ❖ 形態 裸高 23~28mm、殻径 7~8 mm、7.5~8 層。右巻きで殻頂部は尖っている。こげ茶色で縫合線下に淡黄色の細い色帯を持つ。緯度の高さに比例して殻高が小さめになる傾向が見られる。
- ❖ 分布の概要 奥羽山脈全域と北上高地の一部に分布している。
- ❖ 生息状況 主にブナ帯に生息するが、一部ミズナラ帯でも確認されている。
- ❖ 脊威 気候の温暖化や森林の伐採等による生息環境の変化が懸念される。
- ❖ 文獻 1. 柵山龍司編 (1980)、2. 柵山龍司編 (1982)、3. 柵山龍司編 (1985)

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

チョウセンスナガイ

Gastrocopta coreana Pilsbry

マイマイ目 スナガイ科

環境省 なし

- ❖ 形態 裸高 2.2mm、殻径 1 mm ほどの微小種で 5½層。殻は卵形で白色、右巻き。殻口に 6 つほどの歯をもつ。
- ❖ 分布の概要 石灰岩地や海岸付近の草地に生息するが限定的である。
- ❖ 生息状況 下草の根元や転石下などに生息し、比較的乾燥した環境を好む。
- ❖ 脊威 気候の温暖化や森林の伐採、海岸草地の開発等による生息環境の湿度変化が懸念される。

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

ナガナタネガイ

Columella edentula (Draparnaud)

マイマイ目 キバサンガガイ科

環境省 絶滅のおそれのある地域個体群
(東北地方以南のナガナタネガイ)

- ❖ 形態 裸高 2.1mm、殻径 0.6mm ほどの微小種で 6 層。殻は卵形で褐色、右巻き。形はキバサンガガイに似るが、一回り大きく殻口に歯は無い。
- ❖ 分布の概要 盛岡市以北の自然度の高い山林の林床に生息する。
- ❖ 生息状況 林床のササなどの葉裏についていることが多い。
- ❖ 脊威 気候の温暖化や森林の伐採、土地造成等による生息環境の変化が懸念される。また、林床の過度な下草刈りは本種の好適な生息環境を一時的に奪うことになるため、配慮が望まれる。

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

ナタネキバサナギガイ

Vertigo eogeae Pilsbry

マイマイ目 キバサナギガイ科

環境省 絶滅危惧 II類

- ❖ 形 態 裸高 2 mm、殻径 1.3 mm ほどの微小種で 6 層。殻は卵形で淡褐色、右巻き。殻口に 6 つの歯をもち、外唇中央部にくびれがある。
- ❖ 分布の概要 陸前高田市内のため池で確認されている。
- ❖ 生息状況 ため池や休耕田などに生育する挺水植物に付着している。
- ❖ 脊 威 ため池の埋め立てや休耕田の放置による陸地化、乾燥化による生息地の消滅が懸念される。

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

キバサナギガイ

Vertigo hirasei Pilsbry

マイマイ目 キバサナギガイ科

環境省 絶滅危惧 I類

- ❖ 形 態 裸高 1.5 mm、殻径 1 mm ほどの微小種で 4½ 層。殻は卵形でつやのある黄褐色、右巻き。殻口に 4 つの歯をもつ。
- ❖ 分布の概要 県内各地に限的に生息地が点在し、石灰岩地帯に多い傾向がみられる。
- ❖ 生息状況 湿度が高い崖地を好むが、生息地は局限され、個体数も少ない。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化や森林の伐採、土地造成等による生息地の乾燥化が懸念される。

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

ヤマトキバサナギガイ

Vertigo japonica Pilsbry & Hirase

マイマイ目 キバサナギガイ科

環境省 絶滅危惧 II類

- ❖ 形 態 裸高 1.7 mm、殻径 1 mm ほどの微小種で 5 層。殻は卵形で褐色、右巻き。殻口に 4 つの歯をもつ。キバサナギガイと比べ、褐色が強く幾分ふくらみが強い。
- ❖ 分布の概要 県内各地に限的に生息地が点在し、石灰岩地帯に多い傾向がみられる。
- ❖ 生息状況 湿度が高い崖地を好むが、生息地は局限され、個体数も少ない。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化や森林の伐採、土地造成等による生息地の乾燥化が懸念される。

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

オオタキコギセル

Euphaedusa digonoptyx (Boettger)

マイマイ目 キセルガイ科

環境省 なし

- ❖ 形 態 小型のキセルガイで左巻、殻高 14 mm、殻径 3 mm ほど。殻口がやや突き出た感じがある。殻皮の着色は無い。
- ❖ 分布の概要 県内各地に分布するが、生息範囲は局限される。
- ❖ 生息状況 広葉樹の腐朽したところに生息し、特に湿度の高い環境を好む。岩手県においては稀産。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化や森林の伐採等による生息環境の変化が懸念される。
- ❖ 文 献 1. 柵山龍司編 (1980)

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

チビギセル

Megalophaedusa expansilabris (Bottger)

環境省 なし

- ❖ 形 態 小型のキセルガイで左巻き。殻高 16mm、殻径 3.5mm、10~10.5 層。淡赤褐色で殻口は白く厚く強く反転している。腔襞は単純。
- ❖ 分布の概要 奥羽山脈に分布するが、生息範囲は局限される。
- ❖ 生息状況 ブナ帯の腐朽した風倒木に付くが、過湿でない部分を好む。岩手県では稀産。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化や森林の伐採等による生息環境の変化が懸念される。
- ❖ 文 献 2. 柵山龍司編 (1982)

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

エゾコギセル

Reinia monelasmus (Pilsbry)

環境省 絶滅危惧 I 類

- ❖ 形 態 小型のキセルガイで左巻、殻高は 12mm、殻径 3 mm ほど。殻表は淡い褐色で不規則な淡色斑がみられる。
- ❖ 分布の概要 一関市と岩泉町の限られた範囲に分布している。
- ❖ 生息状況 落葉広葉樹の樹幹の樹皮下や割れ目、コケ上などでみられる。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化や森林の伐採、土地造成等による生息環境の変化が懸念される。

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

ミヨシギセル

Solitariphaedusa miyoshii (Kuroda & Minato)

環境省 絶滅危惧 II 類

- ❖ 形 態 中型のキセルガイで左巻き、殻高 24.5mm、殻径 5.9mm、13.5 層、美しい殻皮を持つ。細長い紡錘形で、下膨れで殻頂に向かって急に細くなる。透き漆を施した様な光沢のある赤褐色の殻皮と、体層と次体層に微細な粒列を持つ特徴がある。
- ❖ 分布の概要 主として奥羽山脈の奥部に分布。
- ❖ 生息状況 ブナ帯の林床に生息し、あまり湿度が高くないところを好む。個体数は少ない。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化や森林の伐採等による生息環境の変化が懸念される。
- ❖ 文 献 1. 柵山龍司編 (1980)、2. 柵山龍司編 (1982)、4. 川口洋治 (1976)

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

ナミギセル

Stereophaedusa japonica japonica (Crosse)

マイマイ目 キセルガイ科

環境省 なし

- ❖ 形 態 中型のキセルガイで左巻き。殻高 24mm、殻径 7 mm 程、11 層。岩手県産のものは殻皮が灰白色であるが赤褐色を帯びるものもある。
- ❖ 分布の概要 県中部以南の内陸部に分布するが、生息範囲は局限される。
- ❖ 生息状況 平地に生息し、広葉樹の腐朽した形成層などを好むようである。北上市、一関市、平泉町で記録がある。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化や森林の伐採、土地造成等による生息環境の変化が懸念される。
- ❖ 文 献 5. 柵山龍司編 (1981)、6. 柵山龍司編 (1983)

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

ヒカリギセル

Zaptychopsis buschi (Kuster)

マイマイ目 キセルガイ科

環境省 なし

- ❖ 形 態 中型のキセルガイで左巻き。殻高 20mm、殻径 5 mm、11 層。若い成貝では殻皮が淡黄褐色で平滑。光沢が強いのでこの和名となった。
- ❖ 分布の概要 県中部以南に分布するが、生息範囲は局限される。
- ❖ 生息状況 広葉樹の腐朽した部分、生立木に着いた苔などに着く。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化や森林の伐採、土地造成等による生息環境の変化が懸念される。
- ❖ 文 献 1. 柵山龍司編 (1980)、5. 柵山龍司編 (1981)

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

タカキビ

Coneuplecta praealta (Pilsbry)

マイマイ目 シタラ科

環境省 準絶滅危惧

- ❖ 形 態 殻高 4 mm、殻径 2.5mm ほどの微小種で 9 層。殻は高い円錐形で淡褐色、右巻き。体層に周縁角を有する。
- ❖ 分布の概要 県内各地に生息地が点在するが限定的。石灰岩地で個体数が多い傾向がみられる。
- ❖ 生息状況 林縁のコクサギ等の低木の葉裏でみられることが多い。
- ❖ 脊 威 森林の伐採、土地造成等による生息環境の消滅や気候の温暖化による生息地の乾燥化が懸念される。

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

キビガイ

Gastrodontella stenogyra (A.Adams)

マイマイ目 シタラ科

環境省 なし

- ❖ 形 態 裸高 1.8mm、殻径 2.3mm ほどの微小種で、螺層は密で多く 7 層。殻は黄褐色、右巻き。体層に周縁角をもつ。
- ❖ 分布の概要 主に石灰岩地の自然度の高い森林で生息地が確認されているが、極めて限定的。
- ❖ 生息状況 自然度が高く湿度の高い森林の林床の落葉下に生息するが、個体数は少ない。
- ❖ 脊 威 森林の伐採、土地造成等による生息環境の消滅や気候の温暖化による生息地の乾燥化が懸念される。

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

カワグチレンズガイ

Otesiopsis kawaguchii Habe

マイマイ目 シタラ科

環境省 準絶滅危惧

- ❖ 形 態 殻径 9 mm、殻高 5 ~ 6 mm、6.5 層。右巻き。周縁に弱い角をもち、ややソロバン玉に近い形状。淡い黄褐色で殻は極めて薄質。殻口は三日月形。
- ❖ 分布の概要 奥羽山脈の亜高山帯に分布するが、生息範囲は局限される。
- ❖ 生息状況 落葉堆積と地表の間で、過湿ではない場所を好む。個体数は極めて少ない。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化や森林の伐採、開発行為等による生息環境の変化が懸念される。
- ❖ 文 献 1. 檜山龍司編 (1980)

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

ヒゼンキビ

Parakaliella hizennensis (Pilsbry)

マイマイ目 シタラ科

環境省 準絶滅危惧

- ❖ 形 態 殻高 1.7mm、殻径 2 mm ほどの微小種で 5 ½ 層。殻は低い紡錘形で淡い黄褐色、右巻き。体層に周縁角は無い。
- ❖ 分布の概要 主に石灰岩地の自然度の高い森林で生息地が確認されているが、極めて限定的。
- ❖ 生息状況 林床の落葉堆積下に生息するが、個体数は極めて少ない。
- ❖ 脊 威 森林の伐採、土地造成等による生息環境の消滅や気候の温暖化による生息地の乾燥化が懸念される。

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

ヒメハリマキビ

Parakaliella pagoduloides (Gude)

マイマイ目 シタラ科

環境省 準絶滅危惧

- ❖ 形態 裸高 1.8mm、殻径 1.5mm ほどの微小種で 5 $\frac{1}{2}$ 層。殻は紡錐形で淡い黄褐色、右巻き。体層の周縁角は弱く鈍い。
- ❖ 分布の概要 県内各地の自然度の高い森林に生息地が点在する。
- ❖ 生息状況 林床の落葉堆積下に生息するが、個体数は少ない。
- ❖ 脊威 森林の伐採、土地造成等による生息環境の消滅や気候の温暖化による生息地の乾燥化が懸念される。

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

スジキビ

Parakaliella ruida (Pilsbry)

マイマイ目 シタラ科

環境省 準絶滅危惧

- ❖ 形態 裸高 2.5mm、殻径 3.5mm ほどの小型種で 4 層。殻は低い円錐形で黄褐色、右巻き。強い周縁角を持ち規則的な成長肋がある。
- ❖ 分布の概要 一関市と岩泉町の数カ所で分布が確認されている。
- ❖ 生息状況 極めて自然度が高く湿度の高い森林に生息しているが、個体数は極めて少ない。
- ❖ 脊威 森林の伐採、土地造成等による生息環境の消滅や気候の温暖化による生息地の乾燥化が懸念される。

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

ウメムラシタラガイ

Sitalina japonica (Kuroda & Miyanaga)

マイマイ目 シタラ科

環境省 準絶滅危惧

- ❖ 形態 裸高 1.5mm、殻径 2 mm ほどの微小種で 4 $\frac{1}{2}$ 層。殻は円錐形で黄褐色、右巻き。体層に周縁角はやや強い。殻表に数本の螺状肋を有する。
- ❖ 分布の概要 一関市内の石灰岩地で分布を確認している。
- ❖ 生息状況 林床の落葉下に生息するが、個体数は極めて少ない。
- ❖ 脊威 森林の伐採、土地造成等による生息環境の消滅や気候の温暖化による生息地の乾燥化が懸念される。

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

オオウエキビ

Trochochlamys fraterna (Pilsbry)

マイマイ目 シタラ科

環境省 情報不足

- ❖ 形態 裸高 3 mm、殻径 2 mm ほどの微小種で 5 $\frac{1}{2}$ 層。殻は紡錐形で茶褐色、右巻き。体層にやや強い周縁角を有する。
- ❖ 分布の概要 県内各地に分布するが、産地は限定される。海岸林で個体数が多い傾向がみられる。
- ❖ 生息状況 林床の落葉下に生息している。
- ❖ 脊威 森林の伐採、土地造成等による生息環境の消滅や気候の温暖化による生息地の乾燥化が懸念される。

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

オオタキキビ

Trochochlamys liocona (Pilsbry & Hirase)

マイマイ目 シタラ科

環境省 準絶滅危惧

- ❖ 形 態 裸高 3.5mm、殻径 4 mm ほどの微小種で 5 ½ 層。殻は紡錘形で褐色、右巻き。
- ❖ 分布の概要 盛岡以北の内陸部の山間地で生息地が確認されているが個体数は少ない。
- ❖ 生息状況 ササ類や低木の葉裏や枝上に付着していることが多い。
- ❖ 脊 威 森林の伐採、土地造成等による生息環境の消滅や気候の温暖化による生息地の乾燥化が懸念される。

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

マメマイマイ

Aegista commoda (A.Adams)

マイマイ目 ナンバンマイマイ科

環境省 なし

- ❖ 形 態 裸高 5.5mm、殻径 7.8mm、6 層。右巻き。球状の円錐形で黄褐色。縫合は深く、殻口は僅かに反転。臍孔は細く深い。
- ❖ 分布の概要 県内各地に分布するが、生息地は局限される。
- ❖ 生息状況 自然度の高い落葉広葉樹林に生息し、低木の葉裏や枝上、落枝上でみられる。個体数は極めて少ない。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化や森林の伐採、土地造成等による生息環境の変化が懸念される。
- ❖ 文 献 7. Hirano *et al.* (2013)

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

ササミケマイマイ

マイマイ目 ナンバンマイマイ科

Aegista kunimiensis M.Azuma & Y.Azuma

環境省 情報不足

- ❖ 形 態 裸高 5 ~ 6 mm、殻径 9 ~ 9.5mm、5 層、低い円錐形。微かに周縁角を有するものもあり。暗褐色の殻皮に密に鱗片状の付属物を持つ。臍孔の広さは径の 1 / 3 を占める。
- ❖ 分布の概要 主として奥羽山脈及び早池峰山周辺の亜高山帯に分布するが、範囲は局限され個体数も少ない。
- ❖ 生息状況 ブナ帯のチシマザサを含む落葉堆積下で、比較的湿度が低い場所に生息する。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化や森林の伐採、開発行為等による生息環境の変化が懸念される。
- ❖ 文 献 1. 檜山龍司編 (1980)

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

Aegista 属の一種

Aegista sp.

マイマイ目 ナンバンマイマイ科

環境省 なし

- ❖ 形 態 裂高 2.5mm、殻径 7 mm ほどの微小種で 5 1/2 層。右巻き。殻は低い円錐形で褐色、光沢はない。殻表にごく細かい鱗皮状の彫刻がある。
- ❖ 分布の概要 北上高地に産地が点在するが、極めて局地的。
- ❖ 生息状況 自然度の高い落葉広葉樹林の落葉堆積中や樹皮下などでみられる。個体数は極めて少ない。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化や森林の伐採、土地造成等による生息環境の変化が懸念される。
- ❖ 特記事項 複数の隠蔽種の存在が指摘されており（平野尚浩、未公表）、今後の詳細な検討が望まれる。

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

ナンブマイマイ

Euhadra decorata diminuta Toba & Kuroda

マイマイ目 ナンバンマイマイ科

環境省 準絶滅危惧

- ❖ 形 態 裂高 17~19mm、殻径 26~31mm、5~6 層。左巻き。色帯は 0204 型。殻皮は淡黄褐色で火炎彩を有する。
- ❖ 分布の概要 沿岸の離島と大船渡市三陸町以北に分布。
- ❖ 生息状況 落葉広葉樹林に生息するが、個体数は少ない。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化や森林の伐採、土地造成等による生息環境の変化が懸念される。
- ❖ 文 献 1. 柵山龍司編 (1980)、5. 柵山龍司編 (1981)、6. 柵山龍司編 (1983)

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

イワデマイマイ

Euhadra decorata iwadensis Toba & Kuroda

マイマイ目 ナンバンマイマイ科

環境省 なし

- ❖ 形 態 裂高 26mm、殻径 45mm、7 層であるが、やや小型のものもみられる。左巻き。トバマイマイに比較し、螺管はより細く、扁平。クリーム色から褐色系の殻皮を持ち、火炎彩を欠く。色帯は 0204 型であるが 0000 型も稀にみられる。
- ❖ 分布の概要 奥羽山脈の亜高山帯に分布するが、範囲は限定され個体数も少ない。
- ❖ 生息状況 ブナ帯のチシマザサを含む落葉堆積下で、比較的湿度が低い場所に生息する。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化や森林の伐採等による生息環境の変化が懸念される。
- ❖ 文 献 1. 柵山龍司編 (1980)、2. 柵山龍司編 (1982)、5. 柵山龍司編 (1981)

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

トバマイマイ

Euhadra decorata tobai Hirase

マイマイ目 ナンバンマイマイ科

環境省 なし

- ❖ 形態 裸高 30mm、殻径 45~48mm、6.5 層。左巻き。火炎彩は顕著で光沢が強く螺管が太い。産地により黄褐色系、黒褐色系。湿度の高いブナ・チシマザサの林床には、油を塗った様な艶のものがみられる。殻皮の色彩に関わらず軟体は黒色。
- ❖ 分布の概要 県内全域に分布し、奥羽山脈には黒褐色系、北上高地には光沢の弱いタイプ、その中間地域は黄褐色系になる傾向がある。
- ❖ 生息状況 落葉広葉樹林に生息するが、個体数は少ない。
- ❖ 脊威 気候の温暖化や森林の伐採、土地造成等による生息環境の変化が懸念される。
- ❖ 文獻 1. 柵山龍司編 (1980)、3. 柵山龍司編 (1985)、5. 柵山龍司編 (1981)

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

オオタキマイマイ

Euhadra grata grata (Gude)

マイマイ目 ナンバンマイマイ科

環境省 絶滅危惧 II類

- ❖ 形態 裸高 22~25mm、殻径 25mm 程、6 層。左巻き。丸形で殻皮は淡いクリーム色。色帯は 0234 型、0204 型、0000 型のほか、殻底一面に色帯が広がる型もある。
- ❖ 分布の概要 奥羽山脈の深奥部に分布し、生息地は局限される。北上高地では確認されていない。
- ❖ 生息状況 自然度の高い落葉広葉樹林に生息するが、個体数は極めて少ない。
- ❖ 脊威 気候の温暖化や森林の伐採、土地造成等による生息環境の変化が懸念される。
- ❖ 文獻 5. 柵山龍司編 (1981)

(高橋 一成)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ①②

ヒダリマキマイマイ

マイマイ目 ナンバンマイマイ科

Euhadra quaesita quaesita (Deshayes)

環境省 なし

- ❖ 形態 裸高約 33mm、殻径約 45mm、5 ~ 6 層で左巻き。大型で螺管は太い。色彩は平地型が黄褐色で山地型が茶褐色。殻口は薄く反転する。
- ❖ 分布の概要 釜石以南の沿岸南部に限定的に分布。
- ❖ 生息状況 住宅地周辺の里山環境でみられるが、個体数は少ない。
- ❖ 脊威 気候の温暖化や土地造成等による生息環境の変化が懸念される。
- ❖ 文獻 1. 柵山龍司編 (1980)

(高橋 一成)

ビロウドマイマイ種群

マイマイ目 ナンバンマイマイ科

Nipponochloritis sp.

環境省 なし

- ❖ 形 態 体層が極端に大きく、丸形の中型の貝で、殻表には微細な毛様付属物を纏う。殻高 15mm、殻径 20mm 程とあまり大きくなく、4.5 層。濃褐色で軟体は黒色。右巻き。
- ❖ 分布の概要 岩手県全域に分布するが、極めて局所的で個体数も少ない。
- ❖ 生息状況 かなり湿度の高い落葉堆積下や倒木の樹皮下で見つかることが多い。
- ❖ 脊 威 気候の温暖化や森林の伐採、土地造成等による生息環境の変化が懸念される。
- ❖ 特記事項 県内にはこの仲間が複数種生息しているが、分類学的に不確定要素が多いことから、一つの種群として取り扱うこととした。今後の詳細な検討が望まれる。
- ❖ 文 獻 1. 柵山龍司編 (1980) 、5. 柵山龍司編 (1981)

(高橋 一成)